

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：光の園アンティー保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：中尾 麻衣子	定員（利用人数）：71（72）名	
所在地：〒222-0011 横浜市港北区菊名1-6-14		
TEL：045-716-8326	ホームページ： https://www.aunty-i.com/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2017年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社アンティー		
職員数	常勤職員：16名 非常勤職員：8名	
専門職員	（専門職の名称）：名	
	保育士：21名 栄養士：2名	
	調理師：1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	
	居室：0.1歳児室	設備：調理室 2室
	居室：2歳児室	設備：沐浴室
	居室：3歳児室	設備：事務室兼医務室
	居室：4歳児室	設備：幼児トイレ
	居室：5歳児室	設備：多目的トイレ
		設備：エレベーター
	設備：園庭	

③理念・基本方針

<理念>

●北海道大学名誉教授 故 若井邦夫先生（乳幼児発達心理学）の理念のもとに「子どもの心を大切に」を基本理念にあらゆる子どもの可能性を信じて、発達に必要な健全と安全を守ります。

●自立に向けて基本的な生活習慣の確立と社会性と協調性を育む保育を目指します。

●依存・信頼・遊び・体力・意欲・知恵の育ちを大切にします。

“心・知恵・身体のバランスの取れた育ち”を大切に、成長の過程で出会う目の前の問題や、壁を乗り越えられる精神の構築を促す保育を行います。

<基本方針>

1. 問題や、壁を乗り越えられる精神の構築を促します。

2. 色々な事を経験し、社会性・協調性を身につけます。

3. 自主的・自発的・主体的に生きる力を育みます。

4. 家庭的な雰囲気の中で共に生きている喜びや互いに感謝する心を大切にします。

5. 地域の人々との触れ合いを大切に保育活動を行います。

6. 職員は信頼される態度で言葉使いを大切にします。

<保育目標>

1. 思いやりのある優しい子
2. 自己解決力のある強い心の子
3. 仲間を大切に、社会性・協調性のある子

④施設・事業所の特徴的な取組

<光の園アンティー保育園の特徴的な取組>

●株式会社アンティー系列の光の園アンティー保育園は、定員71名で東急東横線「妙蓮寺駅」より徒歩2分に立地しています。

●園の周辺には数多くの公園が点在しており、園では子どもたちの発達に合わせて遠近の公園を選び、散歩に利用しています。年中・年長クラスは武相高校のグラウンドを間借りしているため、秋以降に散歩コースとして組み込んでいます。

●園は分園と本園からなり、古刹妙蓮寺との一体感が感じられる商店街の真ん中にあります。横浜保育室であった分園が拡大して認可保育園になって8年目です。駅に近いため入所希望者は多く見学会も人気です。ここ2年間で一時保育事業に力を入れていて1日6名程度のお預かりをしています。

●園の目標、年間保育テーマとして「ひとりひとりつながって、世界の平和を願いハーモニーを奏しよう」を掲げ、そのテーマに沿って子どもたちの精神教育を行うように努めています。特に平和教育を大切に、毎月のお誕生日会や集まりの場で、世界の紛争や貧困にも目を向け、私たちにできること、どうしたら平和が訪れるかなどを考える機会を持つように働きかけています。

●モンテッソーリ講師による文化や自然、文字・数の学びを取り入れたり、課外教室としてYMCA水泳、体操教室や空手教室、リトミックの専任講師による音感教育、第二言語に触れる機会として外国人講師によるレッスンなど多様なプログラムを取り入れています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2024年07月05日（契約日） ～ 2024年11月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2019年度）

⑥総評

【光の園アンティー保育園の概要】

●光の園アンティー保育園（以下、当園という。）は、株式会社アンティー（以下、法人という。）の運営です。法人は、大岡山ルーテル幼稚園元園長平塚登美子氏、元教諭の渡辺佳津子氏と共に、「子どもの心を大切に」の理念で、昭和60年横浜市で最も古いベビーシッター会社として港北区に誕生しました。その後、横浜保育室認定を経て平成21年には認可保育園「光の園保育園」、平成27年に「光の園第二保育園」、平成29年に当園を設立、現在3つの認可保育園を運営しています。保育アドバイザー北海道大学名誉教授 故若井邦夫先生（乳幼児発達心理学）の理念『心知体の柔軟な育ち』を大切に、成長の過程で出会う目の前の問題や壁を乗り越えられる精神の構築を促す保育を実践し

ています。園名「光の園」は、一人ひとりが輝くために生まれ、そのかけがえのない命を大切に育てたいとの思いから名付けられました。

●当園は、本園と分園からなり、古刹妙蓮寺との一体感が感じられる商店街の中ほどに位置し、本園・分園共に、東急東横線「妙蓮寺駅」より徒歩2～3分程と利便性の良い立地です。近隣には、複数の公園があり、年齢や活動に合わせて四季折々のコースを選び、散歩を楽しんでいます。また、武相高校のグラウンドを間借りする等、伸び伸びと遊べる環境にあります。駅から数分という保護者の通勤に最適な場所から入所希望者が多く、見学会が大盛況です。一時保育事業にも力を入れています。

●当園の定員は71名、0歳～5歳児までの保育を実施し、現在72名の園児が在園しています。本園は2階建てで、1階に2歳～3歳児の保育室、2階に4歳～5歳児の保育室があります。分園は、1階のフロアに0歳～1歳児の保育室があります。全職員は基本理念「子どもの心を大切に」を基に、一人ひとりの子どもに寄り添った丁寧な保育を実践しています。

◇特長や今後期待される点

1. 【子どもを尊重した丁寧な保育】

当園では、基本理念「子どもの心を大切に」を常に意識した保育実践を心がけています。全職員は、一人ひとりの子どもの様子を観察・傾聴・共感する姿勢を持ち、自分自身の行動や言葉がけに注意を払っています。園内研修にて「子どもの人権」・「保育所保育指針」・「心理的安全性」等について、職員間で学び合い日常の保育に生かしています。職員は子どもの目線の高さで、やさしく丁寧に言葉がけを行い、子どもたちは安心して自分の気持ちを保育者に伝えています。子どもたちの興味・関心から、自分から選んで遊べるよう遊具コーナーを工夫し、遊具棚にはトレイごとに遊具がセットされ、机上遊びを楽しみ・片づけがスムーズにできるように工夫されています。子どもの主体性を尊重し、保育者は待つこと・見守ること・必要に応じた援助、をポイントに、常に子どもの気持ちに寄り添った関わり方を行っています。保育実践の振り返りの記録及び行事等の取組と評価・反省の記録からも十分窺うことができます。今回の利用者（保護者）アンケートでも「子どもの気持ちに寄り添って保育」、「子どもを大事にしている」、「アットホーム」、「安心して預けられる」、「楽しく登園」等々の意見が多く寄せられ、保護者の満足の高さが窺えます。

2. 【平和教育と多様なプログラム】

年間保育テーマに「一人ひとりとながって、世界の平和を願い、ハーモニーを奏しよう」を掲げ、テーマに沿い子どもたちへの『平和教育』に取り組んでいます。毎月の誕生会や集会の場で、その時々に応じた世界情勢（紛争や貧困問題）を分かりやすく話し、子どもたちに問いかけながら、「自分たちにできること」・「どうしたら平和になるのか」等を考える機会としています。当園では、ひまわりプロジェクト（東北の震災後の大川小学校のひまわり活動）の実施や、能登半島の震災支援（募金活動）に協力しています。また、教育プログラムとして、専任講師による毎月の英語レッスン・リトミック・体操教室・空手教室・モンテッソーリの文化や自然・文字・数の学びを取り入れている他、課外教室としてYMCA水泳も実施しています。子どもたちは、年齢に応じて多様なプログラムを経験し、遊びから体力・意欲・知恵が育まれています。調査当日は、保育者によるリトミック（0～1歳児）が活動的に行われており、子どもも保育者も笑顔が溢れていました。また、2歳児クラスの戸板をよじ登る姿は圧巻でした。4歳～5歳児は運動会に向けての体操や、園歌に手話を交えて披露してくれました。どの子どもも楽しそ

うに自信たっぷりに表現し、笑顔が輝いていました。正に園名「光の園」を感じられる場面でした。

3. 【食育への取組】

当園では「食べることは生きること」をテーマに、年間食育計画に沿って食育活動を行っています。食に関する豊かな経験ができるよう、各年齢の子どもたちに合わせた食育体験（視覚・触覚・嗅覚・味覚）を行い、季節の変化を感じられるように取り組んでいます。また、子どもたちに野菜作りの体験機会を設け、野菜の生育・土作り等を通して食を身近に感じ、興味・関心が持てるようにしています。園庭内のプランターには、収穫後のきゅうり・トマトの苗や小さなピーマンが残っていました。給食では、旬の食材を使用し、メニューや盛り付けに工夫し、見た目にも楽しく、美味しく、安心して食べられる食事を提供しています。また、世界や日本各地をテーマにした料理、行事食（お正月、雛祭り、クリスマス等）も取り入れ子どもの食文化への興味を広げています。毎月の誕生会では、季節のフルーツを飾った手作りケーキが好評で、ホームページでも確認できます。日常的に栄養士・調理師が、子どもたちの喫食状況を見て回り、食材の話をする等、交流が図られています。特に、男性調理師は子どもたちに大人気で、一緒に野菜の生育状況を確認したり、調理したりと会話が弾んでいます。今回の利用者（保護者）アンケートでも「メニュー豊富」、「給食が美味しい」、「イベント食が楽しい」等々の意見が寄せられ、保護者の満足の高さが窺われます。

4. 【経営課題への取組】

園長は、当園の管理職職員（副園長・主任・リーダー）と共に、働きやすい職場環境作りに取り組んでいます。余剰ある人員配置になるように努め、産休・育休後の復帰率の高さの維持に尽力しています。職員間の良好な関係作りのため、園内研修「心理的安定性」を継続的に企画・実践し、風通しの良い職場環境となっています。元々乳児保育に特化していた施設が、横浜保育室から認可保育所に移行した経緯から、一人ひとりの子どもに対する対応が、とても丁寧です。0歳～2歳児の個人連絡帳は手書きで細かく記載され、幼児クラスでも月1回、個人連絡ノートに担任が園児の様子を丁寧に記載しています。保育士負担軽減のために、事務量を減らすことやICT化への方向も一考かと思われます。また、当園は商店街の中にあり、地域の活動を支えるメンバーとなっていて、良好な関係が築かれています。地域の子育て支援として一時保育事業にも力を入れています。保護者ニーズに答え、地域の妊娠期～幼児期までの包括的な支援ができる運営を目指すとのことで、これからの取組に期待します。園長の「駅に近いから選ばれるのではなく、この園に入りたいたいから選んだと言われるように努めます。」という言葉が力強く響きました。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 光の園アンティー保育園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取組の感想》

保育を振り返り、保育の質の向上につなげると共に、お子様の育ちに携われることの喜びや責任の大きさを改めて実感いたしました。また、職員と共に考えを共有することで有意義な時間を持ち、自園の強みと課題を再確認する良い機会となりました。

保護者様方からご信頼を寄せていただいていることを感じるメッセージ、評価をいただいたことは、大変大きな励みになりました。保護者の皆様からお寄せいただいた貴重なご意見をしっかりと受け止めて、今後も期待と信頼に応えられるように努めて参ります。

この度の第三者評価の結果を受けて、今後さらなる研鑽に努め、いただいた助言を日々の保育にしっかりと取り入れて、今後も職員一丸となり、お子様方、保護者の皆様・地域の方々に寄り添う保育を目指していきたいと思います。

この度は第三者評価の始めからご丁寧な説明、迅速で公平且つ、適切なお対応、誠にありがとうございました。

- ⑧第三者評価結果
別紙2のとおり